

古来 東洋では

“美威のあるところに正しき生活あり”と諺われ

西洋のプラトンも

自己の哲学を一口に示すと“美の教え”であると言う。

人生の真理を求めてやまなかった

文豪トルストイは“美は快感なり”と記し

「芸術は人びとを合一させる手段のひとつ」と言った。

ジョルジュ・サンタヤナも言う

「美はあるものもっている優れた性質に対して

人が感じる快感である」と……

嗚呼 美なくば魂の純度を上げること不可能なり

美は内なる健全さと正当さの外への現れであり

目に見える正義 人間の「証明」であるからだ

美は生の理想に力を与え 人間を真の善に何かさせるもの

哲人は言った“花が花の本性を現する時最も美しく咲く如く

人間が人間の本性を現する時 美の頂点に達する”と……

詩人は謳う“美は真なり 真は美なり”

“美は神が徳の上につける^{しるし}印である”

かくして 美は存在の恵み 愛となりしもの

美は永遠の歓び 美は自由 美は平和

美は無限なるもの 美は^{いのち}心の極致……

一色玄墨